

●艦隊令

大正三年十一月三十日
軍令海第十號

改正

大正五年第五號、六年第一號、八年第二號、一二年第八號、昭和三年第一號、
第五號、七年第二號、八年第三號、第六號、九年第五號、一二年第五號、一三
年第一號、第八號、一五年第九號、第一五號、一六年第二五號、一七年第一號、
第五號、第六號、一八年第五號、第八號、一九年第二號、第六號、第八號、第九號

朕艦隊令ヲ制定シ之ヲ施行ヲ命ス（海軍大臣署）

艦隊令

第一條 艦隊ハ軍艦二隻以上ヲ以テ編成シ必要ニ應シ之ニ驅逐隊、潛水隊、砲艦隊、海防隊、輸送隊、水雷隊、掃海隊、驅潛隊、潛隊、航空隊又ハ驅逐艦、潛水艦、砲艦、海防艦、輸送艦、水雷艇、掃海艇、驅潛艇、敷設艇、哨戒艇ヲ編入シ港務部、防備隊、航空隊、特務艦及必要ナル機関等ヲ附屬ス

艦隊ハ必要ニ應シ軍艦及驅逐隊、潛水隊、砲艦隊、海防隊、輸送隊、水雷隊、掃海隊、驅潛隊若ハ其ノ他ノ部隊ヲ以テ又ハ航空隊二隊以上ヲ以テ編成ス

艦隊ハ編制、特性若ハ任務ニ因ル名稱又ハ差遣スル海洋若ハ地方ノ名ヲ冠稱ス

第二條 艦隊ハ必要ニ應シ之ヲ戰隊ニ區分ス

戰隊ハ軍艦二隻以上ヲ以テ、軍艦及驅逐隊、潛水隊、輸送隊、

驅逐艦二隻以上、潛水艦二隻以上、砲艦二隻以上、海防艦二隻以上、輸送艦二隻以上若ハ航空隊ヲ以テ又ハ航空隊二隊以上ヲ以テ之ヲ編成ス但シ主トシテ航空母艦、水上機母艦、航空隊、驅逐隊、潛水隊、砲艦隊、海防隊、輸送隊、驅逐艦、潛水艦、輸送艦等ヲ以テ編成スルトキハ之ヲ航空戰隊、水雷戰隊、潛水戰隊、輸送戰隊等ト稱スルヲ例トス
戰隊ニハ必要ニ應シ水雷隊、掃海隊、驅潛隊、警備隊等ヲ編入シ艦船ヲ附屬ス
戰隊ハ編成ニ依リ之ヲ第一戰隊、第二航空戰隊、第三水雷戰隊、第四潛水戰隊、第五輸送戰隊等ト稱ス
第三條 聯合艦隊ハ艦隊二箇以上ヲ以テ編成シ必要ニ應シ之ニ艦船部隊ヲ編入シ又ハ附屬ス
前項ノ規定ニ依リ編入又ハ附屬セラレタル艦船部隊ハ必要ニ應シ前條ノ規定ニ準シ其ノ一部又ハ全部ヲ戰隊ニ區分ス
第四條 聯合艦隊ニ司令長官ヲ置ク
艦隊ニ司令長官又ハ司令官ヲ置ク
戰隊ニ司令官ヲ置ク但シ第三十條ノ場合ニ於テハ之ヲ置カサルコトヲ得
聯合艦隊司令長官、艦隊司令長官及獨立艦隊司令官ハ親補トス

第二類 官制 艦隊

四五

第五條 聯合艦隊及艦隊ニ當該司令長官ノ幕僚トシテ左ノ職員ヲ置ク

第九條 聯合艦隊、艦隊、戰隊ノ編制竝各司令部ノ定員ハ別ニ之ヲ定ム

參謀長

參謀

副官

機關長

軍醫長

主計長

第六條 司令官ノ幕僚トシテ參謀ヲ置キ又必要ニ應シ副官及機関長ヲ置ク

艦隊ノ編制又ハ任務ニ應シ前項職員ノ一部ヲ置カサルコトヲ得

第十條 聯合艦隊司令長官ハ天皇ニ直隸シ聯合艦隊ヲ統率シ之ニ關スル隊務ヲ統督ス

聯合艦隊司令長官ハ軍政ニ關シテハ海軍大臣ノ指揮ヲ承ケ又作戰計畫ニ關シテハ軍令部總長ノ指示ヲ承ク

第十一條 艦隊司令長官ハ

天皇ニ直隸シ麾下ノ艦隊ヲ統率シ隊務ヲ總理ス

艦隊司令長官ハ軍政ニ關シテハ海軍大臣ノ指揮ヲ承ケ又作戰計畫ニ關シテハ軍令部總長ノ指示ヲ承ク

第十二條 艦隊司令長官ハ麾下艦隊ノ軍紀風紀及教育訓練ヲ統監ス

第十三條 艦隊司令長官ハ自己及司令官ノ旗艦又ハ司令部ヲ置ク部隊若ハ地ヲ定メ且必要ニ應シ幕僚及司令部附ノ配屬ヲ定ム但シ司令官ノ旗艦又ハ司令部ヲ置ク部隊若ハ地ハ當該司令官ヲシテ之ヲ定メシムルコトヲ得

第八條 各司令部ニハ第五條及第六條ニ掲クル職員ノ外必要ニ應シ司令部附トシテ士官、通譯官、技師、特務士官、准士官、判任文官、下士官、兵其ノ他特種ノ人員ヲ置ク

前項ノ場合ニ於テハ艦隊司令長官ハ之ヲ海軍大臣及軍令部總長ニ報告スヘシ

第十四條 艦隊司令長官ハ任務上ノ必要ニ應シ一時麾下艦隊ノ編制ヲ變更スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ艦隊司令長官ハ之ヲ海軍大臣及軍令部總長ニ報告スヘシ

第十五條 艦隊司令長官ハ必要ニ應シ麾下ノ艦隊又ハ其ノ一部

ヲ艦隊行動區域外ニ派遣スルトキハ豫メ海軍大臣ニ上申スヘ

シ但シ緊急ノ場合ニ當リテハ直ニ之ヲ艦隊行動區域外ニ派遣スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ事後之ヲ海軍大臣及軍令部總長ニ報告スヘシ

艦隊行動區域ハ別ニ之ヲ定ム

第十六條 艦隊司令長官ハ麾下ノ艦船部隊ヲ分遣スルトキハ其

ノ首席指揮官ヲシテ指揮ヲ掌ラシメ自己ノ職權内ノ事ヲ之ニ委任スルコトヲ得

第十八條 艦隊司令長官ハ地方ノ安寧ヲ保持スル爲地方長官ヨリ兵力行使ノ請求アリタル場合ニ於テ事急ナルトキハ直ニ之ニ應スルコトヲ得但シ地方長官ノ請求ヲ待ツノ違ナキトキハ兵力ヲ以テ便宜之ヲ處理スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ艦隊司令長官ハ之ヲ海軍大臣及軍令部總長ニ報告スヘシ

第十九條

艦隊司令長官ハ軍港又ハ要港若ハ旅順港以外ノ地ニ在リテ所在首席指揮官ナルトキハ其ノ地ニ於ケル守備、秩序ノ維持及齊一ヲ要スル重大ナル事項ニ關シ同地ニ在ル他所屬ノ艦船部隊ヲ指揮スルノ權ヲ有ス但シ緊急ノ必要アル場合ヲ除クノ外之カ爲當該艦船部隊ノ本務ヲ妨クルコトヲ得ス

前項ノ場合ニ於テ當該艦船部隊ノ本務ヲ妨クルニ至リタルトキハ艦隊司令長官ハ之ヲ海軍大臣及軍令部總長ニ報告シ且當該艦船部隊ノ所屬長官ニ通報スヘシ

第十七條 艦隊司令長官ハ麾下ノ艦船ヲ引率スルトキハ航路及泊地ヲ指定シ其ノ安全ニ對シテハ自ラ責ニ任スヘシ

第二十一條 艦隊司令長官ハ疾病其ノ他緊急ノ際ニ當リ一時麾下人員ノ移轉ヲ必要ト認ムル場合ニ於テ海軍大臣ノ承認ヲ經ルノ違ナキトキハ便宜之ヲ處理スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ事後之ヲ海軍大臣ニ報告スヘシ

第二十二條 艦隊司令長官ハ必要ニ應シ麾下ノ人員ヲ麾下艦船部隊ノ間ニ一時轉勤セシムルコトヲ得但シ士官ニ付テハ緊急已ムヲ得サル場合ヲ除クノ外豫メ海軍大臣ノ承認ヲ經ルヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ士官及候補生ニ付テハ之ヲ海軍大臣ニ報告シ其ノ他ノ者ニ付テハ之ヲ本人在籍ノ鎮守府司令長官ニ通報スヘシ

第二十三條 艦隊司令長官ハ麾下ノ職員缺員中又ハ事故アリテ

其ノ職務ヲ執ルコト能ハサルトキハ他ノ職員ヲシテ其ノ職務ヲ代理セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ士官及候補生ニ付

テハ之ヲ海軍大臣ニ報告シ其ノ他ノ者ニ付テハ本人在籍ノ鎮守府司令長官ニ通報スヘシ

第二十四條 艦隊司令長官ハ麾下艦隊ノ内規、日課及週課ヲ制定シ海軍大臣ニ報告スヘシ

第二十五條 艦隊司令長官ハ任務上必要アルトキハ一定ノ標準時ヲ指定シ麾下艦隊ニ限り之ヲ用キシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ海軍大臣及軍令部總長ニ報告スヘシ

第二十六條 艦隊司令長官ハ軍機保護上必要ト認ムルトキハ麾下諸員ニ對シテ他ト交通シ又ハ檢閱ヲ經スシテ一切ノ私信ヲ發送スルコトヲ禁スルコトヲ得

第二十七條 艦隊司令長官ハ事情已ムヲ得スト認ムルトキハ海軍部外ノ者ヲ麾下ノ艦船ニ便乗セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ海軍大臣ニ報告スヘシ

第二十八條 艦隊司令長官ハ毎年十一月該教育年度間ニ於ケル麾下艦隊ノ行動豫定表ヲ調製シ之ヲ海軍大臣及軍令部總長ニ提出スヘシ

第二十九條 聯合艦隊司令長官及艦隊司令長官缺員中又ハ事故アリテ其ノ職務ヲ執ルコト能ハサルトキハ他ノ職員ヲシテ其ノ職務ヲ代理セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ士官及候補生ニ付

行順序ニ從ヒ其ノ職務ヲ代理ス此ノ場合ニ於テハ之ヲ海軍大臣及軍令部總長ニ報告スヘシ

ルコトヲ得

第三十條 聯合艦隊司令長官及艦隊司令長官ハ必要ニ應シ麾下艦隊ノ一部ヲ直率ス

第三十一條 聯合艦隊ニ屬スル艦隊司令長官又ハ獨立艦隊司令官ハ聯合艦隊司令長官ノ指揮ヲ承ク

第三十二條 艦隊司令長官ノ職責中統率ニ關スル事項ハ之ヲ聯合艦隊司令長官ニ準用ス

第三十三條 獨立艦隊司令官ハ

天皇ニ直隸シ其ノ職權ニ付テハ艦隊司令長官ニ關スル規定ヲ準用ス

第三十四條 戰隊司令官ハ艦隊司令長官ニ隸シ麾下戰隊又ハ其ノ一部ヲ指揮統率シ第十二條、第十六條乃至第十九條、第二十六條及第二十七條ノ規定ニ準シ服務ス

聯合艦隊司令長官又ハ艦隊司令長官ノ直率スル戰隊ノ司令官ハ司令長官ノ命スル所ニ依リ服務ス

第三十四條ノ二 潛水戰隊司令官及航空戰隊司令官ハ必要ニ應シ麾下艦船部隊ノ人員ヲ一時麾下ノ他艦船部隊ニ轉勤セシム

第二類 官 制 艦 隊

第三十四條ノ三 分遣隊首席指揮官ハ分遣隊ヲ指揮シ戰隊司令官ニ關スル規定ニ準シ服務ス

第三十五條 司令長官ノ幕僚タル參謀長ハ司令長官ヲ佐ケ隊務ヲ整理シ幕僚其ノ他隊務ニ參與スル職員ノ職務ヲ監督ス

第三十六條 司令長官ノ幕僚タル參謀ハ參謀長ノ命ヲ承ケ艦隊ノ軍紀、風紀、教育、訓練、作戰等ニ關スルコトヲ掌ル機關科將校タル參謀ハ前項ノ規定ニ依ルノ外機關長ノ命ヲ承ケ服務ス

第三十七條 司令長官ノ幕僚タル副官ハ參謀長ノ命ヲ承ケ儀制、人事及庶務ニ關スルコトヲ掌ル

第三十八條 司令官ノ幕僚タル參謀及副官ハ司令官ノ命ヲ承ケ前二條ノ規定ニ準シ服務ス但シ其ノ首席參謀ノ職務ハ參謀長ニ關スル規定ニ準ス又副官ヲ置カサルトキハ其ノ職務ハ參謀ノ任トス

第三十九條 獨立艦隊司令官ノ幕僚ニ參謀長ヲ置クトキハ其ノ職務ハ第三十五條ノ規定ニ準ス

前項ノ場合ニ於テハ司令官ノ幕僚タル參謀及副官ハ參謀長ノ命ヲ承ケ服務ス

第四十條 機關長ハ司令長官又ハ司令官ノ命ヲ承ケ艦隊又ハ戦隊ノ機關、艦内工作及航空機ノ整備並船體ノ現状調査ニ關スルコトヲ掌リ各艦船部隊ノ機關長、工作長及整備長ノ職務竝機關科員、工作科員及整備科員ノ教育訓練ヲ監視ス

第四十一條 軍醫長ハ司令長官又ハ獨立艦隊司令官ノ命ヲ承ケ艦隊ノ醫務、衛生ニ關スル事ヲ掌リ各艦船部隊軍醫長ノ職務及醫務科員ノ教育訓練ヲ監視ス

第四十二條 主計長ハ司令長官又ハ獨立艦隊司令官ノ命ヲ承ケ各艦船部隊ノ會計事務ヲ監督シ之を統一ヲ掌リ各艦船部隊主計長ノ職務及主計科員ノ教育訓練ヲ監視ス

第四十三條 旗艦又ハ分遣隊首席指揮官乗艦ノ航海長ハ司令長官又ハ司令官若ハ分遣隊首席指揮官ノ命ヲ承ケ隊務ニ參與シ

第四十四條 司令官旗艦(獨立艦隊司令官旗艦ヲ除ク)及司令官

司令部所在部隊ノ軍醫長及主計長又ハ分遣隊首席指揮官乗艦

及分遣隊首席指揮官所在部隊ノ機關長又ハ整備長竝ニ軍醫長及主計長ハ司令官又ハ分遣隊首席指揮官ノ命ヲ承ケ隊務ニ參與ス但シ其ノ職務ハ第四十條乃至第四十二條ノ規定ニ準ス

司令長官又ハ獨立艦隊司令官ノ幕僚ニ機關長、軍醫長、主計長又司令官ノ幕僚ニ機關長ヲ置カサルトキハ當該旗艦、司令官司令部所在部隊ノ機關長、整備長竝ニ軍醫長及主計長ノ職務ハ亦前項ノ規定ニ準ス

第四十五條 司令長官、司令官又ハ分遣隊首席指揮官特ニ他ノ職員ヲシテ第四十三條及第四十四條ノ隊務ニ參與セシメタルトキハ該二條ヲ適用セス

第四十六條 司令部附士官(司令部附法務科士官ヲ除ク)ハ司令長官又ハ司令官ノ指定ニ依リ各幕僚ニ屬シ又ハ所屬艦船部隊ニ在リテ隊務ニ參與ス

司令部附特務士官、准士官、下士官及兵ハ各上官ノ命ヲ承ケ服務ス

第四十七條 司令部附法務科士官ハ司令長官又ハ司令官ノ命ヲ承ケ艦隊ノ軍事司法及懲罰ニ關スル事ヲ掌ル

第四十八條 通譯官ハ參謀長トキハ首席參謀ヲ置カサルノ命ヲ承ケ通譯ニ關スル事ヲ掌ル

第四十九條ノ二 技師ハ上官ノ命ヲ承ケ技術ニ關スルコトヲ掌

判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ服務ス

第五十條 前四條ニ規定スル者ヲ除クノ外附ハ上官ノ命ヲ承ケ
服務ス

第五十一條 幕僚其ノ他隊務ニ參與スル職員其ノ職務ニ關シ司
令長官又ハ司令官ニ具申又ハ報告ヲ爲ストキハ總テ參謀長
參謀長ヲ置カサルヲ經由スヘシ
トキハ首席參謀

附 則

本令ハ大正三年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

艦隊條例ハ之ヲ廢止ス

記

聯合艦隊司令長官ノ管掌スヘキ軍政事項

- 聯合艦隊ノ所掌事項ニ關スル件
- (大正十三年十一月二十四日
官房第三五六七號)
(海軍次官ヨリ關係管轄長免)
- 聯合艦隊司令長官ノ管掌スヘキ軍政事項
- 一 艦船部隊ノ行動配備ニ關スル事項
- 二 聯合艦隊全般ノ演習、戰技及主要訓練作業ニ關スル事項
- 三 行動需品ニ關スル事項
- 四 艦船ノ行動ニ關係アル重大ナル艦政ニ關スル事項
- 五 聯合艦隊トシテ齊一ヲ要スル儀制、日課、週課等ニ關スル
事項
- 聯合艦隊ノ所掌事項ニ關スル件

● 司令長官又ハ司令官地方ノ安寧ヲ

維持スル爲兵力使用ノ場合

● 旗艦、司令驅逐艦等變更指定報告ノ件

大正十年一月十四日
官房第一三八號

(海軍省副官ヨリ各艦守府、各要港部參謀長宛)

明治三十三年六月二十一日
海總第六二三號ノ二

(海軍總務長官ヨリ陸軍總務長官、鐵部司令官、臺灣總督府海軍參謀長宛)

別紙ノ通北海道廳長官各府縣知事へ通牒候條爲念此旨及御通知

旗艦、司令驅逐艦等變更指定ノ場合ニハ直ニ報告可相成規定ニ

有之候處往々報告洩ノ分有之處理上支障不尠候條自今其都度不取敢電報セラレ更ニ書面ニテ報告相成候様御取計相成度

右申進ス

(別紙)

明治三十三年六月二十一日海總第六二三號(海軍總務長官ヨリ北海道廳長官各府縣知事宛)

今般艦隊條例鎮守府條例及要港部條例改正セラレ司令長官若ハ

司令官ハ地方ニ急激ナル事變起リ直ニ兵力ヲ用フル必要アル場合ニ限リ所在地方長官ト協議シ便宜處決スルコトヲ得ル旨規定

(艦隊條例第八條ノ二鎮守府條例第八條、要港部條例第九條參照)

相成候處右ハ海中ノ孤島其他沿海ノ地方ニシテ其地ニ陸軍部隊ノ駐在セサルカ若ハ其ノ力ノ及

ハサル場合ニ主トシテ適用セラルル儀ニ有之候條爲御心得此段及御通牒候也

● 旗艦、司令驅逐艦等一時變更(將旗ノ移揚ヲ含ム)ノ場合ニ於ケル報告ニ關スル件

昭和十六年十二月二十六日
官房第六七〇六號

(海軍省副官ヨリ各艦守府、各要港部參謀長宛)

旗艦、司令驅逐艦等一時變更(將旗ノ移揚ヲ含ム)ノ場合ニ於ケル報告ニ關スル件通牒

首題ニ關シテハ變更指定ノ場合ト同様其ノ都度報告セラルル向アルモ特ニ必要ト認ムル場合ノ外報告ノ要ナキ義ニ有之候條了

知相成度